

寿楽つうしん

平成25年4月号

平成25年4月発行

発行 老人福祉センター菊名寿楽荘
発行責任者 富田 公道
横浜市港北区菊名3-10-20
TEL 045(433)1255



4月はなぜ卯月という

日本では、旧暦4月を卯月(うづき)と呼び、現在では新暦4月の別名としても用います。卯月の由来は、卯の花が咲く月「卯の花月(うのはなづき)」を略したものというのが定説となっています。

しかし、卯月の由来は別にあって、卯月に咲く花だから卯の花と呼ぶのだとする説もあります。



「卯の花月」以外の説には、十二支の4番目が卯であることから「卯月」とする説や、稲の苗を植える月であるから「種月(うづき)」「植月(うゑつき)」「田植苗月(たうなへづき)」「苗植月(なへうゑつき)」であると説などがあります。他に「夏初月(なつはづき)」の別名もあります。

日本では、新年度または新学期の時期として有名であり、学校・官公庁・会社などでは当月に入社式・入学式が行われ、前月の3月と同様に慌しくなります。世帯数や人口は少ないが、「卯月」という姓(名字)も存在します。4月は毎年7月と同じ曜日が始まり、閏年には1月とも同じとなります。

今月の和歌の解説

【通釈】寧楽(なら)のみやこは満開の花が色鮮やかに華やぐごとく今まさに盛りであることだ

【補記】をののおゆのあそみ

小野老は、養老3年(719)従五位下。天平元年(729)従五位上、この前年の神亀5年(728)頃、大宰少貳として大宰の帥(そち)大伴旅人の配下にありました。天平9年(737)六月大貳従四位下で没。この歌から335番歌までは、大宰府での宴会の歌がまとめられています。あをによしは(奈良の「枕詞」。あをに、は緑青(ろくしょう)で顔料につかっていた。「よし」はその産地をほめた言葉。奈良は寧楽、平城などの字で書かれていました。咲く花はこの花は櫻という説(武田祐吉「萬葉集全註釈」)と、その季節、奈良に咲いていた花の総称という説(伊藤博「萬葉集釈注」)があります。にはほふは色かが映(は)えることを萬葉時代は「におう」といいました。この句では「薫」を使っており、花の香(かお)りの匂うことをも含んでいます。

4月の養生訓

～快調なスタートですか?～

「どうも調子が出ない」「やる気がわいてこない」「何となくゆううつな気分」…。気候もよく麗らかな季節なのに、いまの時季に不調を感じている人は少なくありません。特に今年はまだまだ震災の影響で、世の中全体がともすると沈みがちな雰囲気。しかし、物事ははじめが肝心です。不調の原因を知り、自分の生活スタイルに適した対処法を身につけて、前向きな気分で新年度をスタートさせましょう!





4月のスケジュール



の
文字は開講日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	太極拳	つるし雜	椅子に座って エクササイズ	横浜郷土史	英会話 水彩画	歴史講座
7	8	9	10	11	12	13
卓球開放			ウクレレ教室 健康相談	歌声教室	英会話 編物教室 健康麻雀	初めての書道
14	15	16	17	18	19	20
卓球開放	太極拳	つるし雜	椅子に座って エクササイズ 栄養相談	横浜郷土史	英会話 水彩画	歴史講座
21	22	23	24	25	26	27
卓球開放		休館日	ウクレレ教室 健康相談	歌声教室	編物教室 健康麻雀	初めての書道
28	29	30				
卓球開放	卓球開放	卓球開放				

健康相談・栄養相談

菊名寿楽荘では、25年度も引き続き、毎月、健康相談・栄養相談を実施してまいります。健康に不安のある方、ご自分の食生活に自信のない方は、遠慮なく先生にご相談してください。相談料は無料です。

- ◎健康相談: 岸本先生
(毎月第2・第4 水曜日12:30~14:30)
- ◎栄養相談: 松田先生
(毎月第3 水曜日12:30~14:30)



春の小川

春の小川は さらさら行くよ
岸のすみれやれんげの花に
すがたやさしく色うつくしく
咲けよ咲けよと ささやきながら

春の小川は さらさら行くよ
えびやめだかや小ぶなのむれに
今日も一日 ひなたでおよぎ
遊べ遊べと ささやきながら

編集後記



『春の小川』は、作詞:高野辰之、作曲:岡野貞一のコンビによる日本の童謡・唱歌。1912年発表。今からちょうど100年前に作られました。高野辰之が当時住んでいた東京府豊多摩郡代々幡村(現在の渋谷区代々木)周辺を流れる河骨川の情景を歌ったものとされています。河骨川は宇田川の上流にあたり、小田急線の代々木八幡駅付近の線路沿いには、『春の小川』の歌碑が建てられています。

デパ地下がない渋谷の某百貨店と春の小川の意外な関係とは？

渋谷の東急百貨店東横店の東館には、何故か百貨店にツキモノのいわゆる『デパ地下』がありません。これは、春の小川の流れをくむ宇田川の支流である渋谷川が地下に流れているためです。地上に百貨店がある川は、日本広しと言えど渋谷川だけでしょう。また、西武百貨店渋谷店のA館とB館の間には、複数の連絡橋がありますが地下連絡通路がありません。これは、A館とB館を隔てる井の頭通りの下に、コンクリートの蓋で暗渠(あんきょ)化された宇田川が流れているからです。

コンクリートに囲まれて下水道と化した宇田川は、もはや自然の「川」の面影はどこにもありません。さらさらと流れていた春の小川の流れは、皮肉にもその上を慌しく行き交う人の流れに取って代わられてしまったようですね。(もっとも、東横線の相互乗り入れでまた大幅に状況が変わるようですが。)